

粕川

思いのこもった

家族への作文

「前橋のこどもを明るく育てる活動地区別会議」は、新型コロナウイルスの影響から開催規模を縮小し、作文募集と各学校での表彰のみ実施いたしました。

地区内小中学校を通じて、家族への思いを綴った作文を募集しました。入賞者決定後、各学校長から賞状と記念品を手渡していただきました。

児童・生徒さんの作文は、日常の家族の姿が素直な気持ちで表現され、どれも心に響く素晴らしい作品でした。

残念ながら、朗読発表の機会はありませんでしたが、家族の心にはいつまでも残ることでしょう。

●作文優秀者（敬称略）

1年	茂木 彩葉	2年	登山 侑
月田小学校	3年 富山 青澄	4年	黛 采花
5年	山下 琴美	6年	富山 愛菜
1年	真藤 優歩	2年	山田 和聖
粕川小学校	3年 近江 珠李	4年	塚越 麻結
5年	中谷 莉桜	6年	塚越 結香
粕川中学校	1年 飯島 由那	2年	石橋 実奈

●作文佳作者（敬称略）

1年	北爪 美羽	2年	小杉 奏輔
月田小学校	3年 大河原七海	4年	北爪 翔大
5年	須田ひまり	6年	グレイス愛エンジェル
1年	川田 航世	2年	加藤寿々果
粕川小学校	3年 小林 蒼空	4年	坂本 悠歩
5年	小林 愛海	6年	今泉 希彩
粕川中学校	1年 目黒 杏樹	2年	星野 晴蘭

Youtubeで 動画配信

粕川公民館では、親子で楽しめる動画を作成し、動画配信サイト「Youtube」にて配信を行いました。

①『うさぎまんじゅうを作ろう』

うさぎのようなおまんじゅうの作り方を紹介

②『笑顔で子育て笑いヨガ』

くりくみちゃんと遊びながら笑いヨガを体験

外出することが難しい今の時期だからこそ、お家で楽しめる動画を作成しました。

※二次元バーコードを読み込むと視聴できます。



うさぎまんじゅう



笑いヨガ

動画は、前橋市の公式Youtubeチャンネルにて配信しています。ぜひ、チャンネル登録もよろしくをお願いします。

また、視聴した感想やご意見等ございましたら、粕川公民館までお寄せください。



うさぎまんじゅう

googleフォームによるアンケート回答



笑いヨガ

「人権を考える市民のつどい」の中止

・・・隣保館からのお知らせ・・・

3月13日（土）の「人権を考える市民のつどい」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止いたします。

地区内小中学校の代表者による「人権作文発表」と蓮池透氏による「講演会」を予定していましたが、来場される皆様の健康と安全確保を最優先とし中止を決定しました。

楽しみにしていた皆様には申し訳ございませんが、次年度以降の開催にご期待いただきますようお願い申し上げます。

なお、人権作文については、発表する機会がなくなってしまうため、随時公民館報に掲載し、紹介したいと考えております。

小学生の人権作文を紹介

「友達との関わり」

まつしま はるや

月田小四年 松島 遥野

僕は、「友だち」というお話を、聞きました。このお話は友達の大切さや、友達ならきっとこんなことをしてくれる、友達ならどんなことをしてあげるのかということが書いてありました。このお話で心に残った所は、友達だからみんなが先に行っても待っていてくれる所や、友達だから心配してくれて、友達だから一緒に喜んでくれる所などです。なぜここかという、何気なくされていることが一番の幸せなんだなあと思ったからです。完ぺきな友達なんてこの世にいません。そんな友達でも、何気なくしてくれる気づかいに、僕は気がついていきたいです。

次に、道徳の時間に「いじりといじめ」というお話を読みました。このお話は少しかわいそうなお話です。授業中にある男の子が先生に質問されて、まったく違う答えを言ったら、組のみんなに笑われました。でも、その時にある女の子が「何がおもしろかったの」と言い、組がしーんとするというお話です。僕もこの子のようにされたことがあるから、

このお話を聞いて、つらいよなあと思いました。この子のような子は組にぜったいいると思います。このお話を書いた人は、最初は軽いからかいぐらいの気持ちですが、いつのまにか立派ないじめになる、というのを伝えたかったのではないかと、僕は思います。あの女の子のように優しい手をさしのべたいです。

「気付いたこと」

すとう ゆい

月田小五年 須藤 結衣

わたしは、人けん週間で気付いたことがあります。

まずは、校長先生からのお話でした。その話は、あいさつをしようという話でした。相手の目を見てはすかしがらずになどの、あいさつをする時の良い行動や様子などを教えてくれました。あいさつは、人と話す時に、とてもいいことなんだと思いました。

次に、たん任の先生からの話でした。この話からは、自分がいじめてる、つらい思いをさせていると思わなくても、相手はいじめられている、つらい悲しいと思っているんだなと思いました。

そして、人けんビデオでは、「ひびけ！和だいこ」というものを見ました。このビデオでは、相手の気持ちを考える、みんなにはみんなのけんりがある。子どもだから、大人だから関係なく、みんながみんな平等に幸せに生きるというけんりがある、ということが分かりました。

最後に、人けんの本「からすたろう」を見ました。この本を見て、相手がずっと、どんな想いだったか、お友達や周りの人、きっとだれしもが必ず良い所がある。そのことを理解し合わないと、一人ぼっちにさせてしまったり、悲しい思いを、たくさんさせてしまうことになるのだなと思いました。

このように、人けん週間をとおして、気付いたことがたくさんありました。相手を悲しませていたんだなと思いました。

これからは、周りにこまっている人、悲しんでいる人がいたら、助けてあげる。そして、相手の気持ちを考える。相手の良い所を見つけ、接する。一番大事なのは、みんな、平等に、**生きる**というけんりがあることを決して、わすれないことです。このことを必ず守っていきたいです。

粕川の源流域を訪ねて⑤

小沼の管理

現在小沼は、小沼水利組合（粕川地区・宮城地区・伊勢崎市赤堀地区）で管理している。

歴代の室沢地区の自治会長さんが小沼水利組合長を務め、水門管理等をしている。

毎年5月中旬〜6月中旬頃

（最近では田植えが早くなったので調整を取りながら実施している）に各地区の自治会役員の協力より、小沼入水の堀

（さか）を掘り、その後水門を開き、田植え用水に使用している。

小沼の西側を畔沿いに南に

向かって歩いて行くと、弁財

天の祠がある。小沼の水神様を祀ったものと思われる。

岸辺周辺に生えている樹木の根元には、網が巻き付けてあるが、鹿の食害防止対策である。

血の池

小沼から道標の方向に西へ

約数百メートル行った所に「血の池」がある。そこに到着すると説明板があり、次のように書かれている。

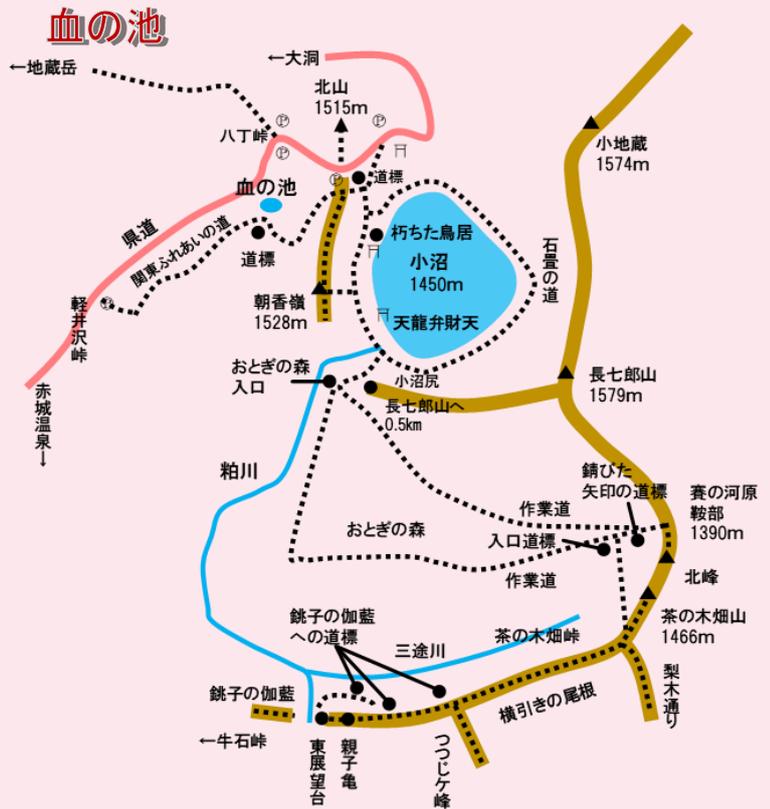
◎伝説

昔、赤城の原に老夫婦と娘一人が住んでいました。娘は美人だったので言い寄る男が多くありました。娘はそれを嫌がり「この空き地に井戸を掘り、もし水が出たら嫁になりましょう。」と言ったのです。ある男が毎日休まずに掘って、ついに水が出るとわかったとき、娘は急死し、血がその井戸に入りました。そこを血の池と言うようになったのです。

◎由来

血の池は、紅色のヤマヒゲナガケンミジンコが沼中に大発生することによって、水の色が赤く染まることに由来しています。

この血の池は、小沼火山の活動が活発な時期に、山体の側面で小爆発が起こり、そのと



きに形成された凹地が、沼となつたものと考えられています。外周約70m水深1m雨季（梅雨時期）8月頃まで）乾季は水は無く草原になる。

前橋市

訪れた時が十一月下旬の乾季になっていたので、一面が枯れ草に覆われていて血の池の面影を見ることができなかった。

血の池の主である、ヤマヒゲナガケンミジンコは渇水期

には卵の状態です。乾季や寒さに耐え、水に浸されるとともに生命が蘇り、特定の条件になると大発生する不思議な生物である。

今度は雨季に行き、男嫌いで死んだ娘の血で真っ赤に染まる幻想的な池を是非見たいものである。

小沼から発する粕川の源流域を下る計画ですが、冬季節間は危険なので、春雪解けの頃まで「粕川の源流域を訪ねて」は休みとする。

（宮崎・記）

人権標語

小学校児童の標語をご紹介します。（敬称略）

●「大丈夫？」 思いやりのある声かけを 腰高 紗依（粕川小6年）

● ありがとう その一言で 笑顔咲く みんなの笑顔が「宝物」

北爪 彩心（粕川小6年）

● 「わたしじゃない」 気付かぬうちに 差別の一步 ハーン 紗菜（粕川小6年）

● 「ごめんね」は 仲よくさせる 合言葉 小山 優雅（粕川小6年）

※学年は令和元年度時です。

ベルマークの回収

ベルマークを集めると、ベルマーク財団や協賛会社、協力企業を通じて地域の学校や公民館などの教育援助に役立てられます。

ぜひ粕川公民館までお持ちください。

<公民館事務室前に回収BOX設置>

公民館の貸し出し

群馬県の新型コロナウイルス感染症の警戒度が「3」へ移行するまで、公民館の部屋の貸し出しを中止いたします。

ご不便お掛けしますが、ご理解のほどお願い申し上げます。図書館は、貸し出しと返却のみ行っています。

ゲートボール部員募集

ゲートボール部員を募集しています。

まずは、練習の様子を見に来ませんか？

練習場と練習日は次のとおりです。

お待ちしております。

(ただし、休みになる時もあります。)

●粕川ゲートボール場

火・木・土・日曜日の午前9時～12時

●深津ゲートボール場

月・水・金・土曜日の午前8時～12時

粕川町ゲートボール部より



前橋市立図書館 粕川分館だより

休館日《木曜日》 ※木曜が休日の場合翌日

2月 4. 12. 18. 25

3月 4. 11. 18. 25

今月の新刊ご案内

《一般書》

●群馬のトリセツ (昭文社) ●暴れ旗本天下御免 (井川香四郎) ●翻りの訴 細腕敵討ち哀歌 (小杉健治) ●神の子 (辻堂魁) ●へんろ宿 (藤原緋沙子) ●ひとり旅日和 2 (秋川滝美) ●二人がいた食卓 (遠藤彩見) ●月と私と甘い寓話 (スイーツ) (野村美月) ●ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人 (東野圭吾) ●とんちき耕書堂青春譜 (矢野隆)

《児童書・絵本》

●オニタロウ (こさかまさみ) ●かいけつゾロリ きょうふのエイリアン (原ゆたか) ●ジャレットと魔法のコイン (あんびるやすこ) ●みけねえちゃんにいうてみな ともだちのひみつ (村上しいこ) ●ルーパートのいた夏 (ヒラリー・マッカイ) ●うしとざん (高島那生) ●カマキリのシャルロットとすずらんでんわ (香川照之) ●999ひきのきょうだいのおやすみなさい (木村研) ●たぬきのおまじない (おおなり修司) ●ゆきだるまとかがみもち (林木林)

市立図書館粕川分館 ☎027 (285) 3312

○開館時間 <平日> 午前10時～午後6時

<土日祝> 午前10時～午後5時

■発行日 令和3年2月15日発行
■編集発行 粕川公民館 〒371-0217 前橋市粕川町西田面194-4
TEL 027-285-3311 FAX 027-230-6063
ホームページ <http://www.city.maebashi.gunma.jp/>
→ 公民館 → 粕川公民館



WEB-SITE

